

2011-09-09 NTTドコモが9月8日に発表した2種類のXi対応 アンドロイドアプリ。Samsung電子製の「GALAXY Tab 10.1 LTE SC-01D」（以下GALAXY Tab 10.1）は、グローバルですでに発表されている「GALAXY Tab 10.1」のNTTドコモ向けモデル、富士通製の「ARROWS Tab LTE F-01D」（以下ARROWS Tab）は同社初のAndroidタブレットだ。

いずれもNTTドコモの次世代高速通信サービス「Xi(クロッシィ)」に対応し、下り最大37.5Mbps、上り最大12.5Mbps(一部の屋内施設では下り最大75Mbps、上り最大25Mbps)の通信が可能。また、端末の発表に合わせてXiの料金プランが改定されている。詳しくは「Xiに新料金プラン 既存の料金プランも改定—7Gバイト以上で通信制限、追加料金で解除」で紹介しているが、月間の累計データ通信料が7Gバイトを超えると追加料金を支払わない場合は通信速度が128Kbpsに制限されることが明らかにされるなど、増え続けるトラフィックに対するキャリア側の対応が徐々に具現化することになりそうだ。なお、NTTドコモによると、データ通信利用者の98%は月間のデータ通信量が7Gバイト以内に収束するとしている。上述の「7Gバイト超対応」は、2012年10月1日からの適用となっているため、当面はXiの速度を思う存分堪能できるだろう。

市場では新たなAndroid OSの アンドロイド3.0

を狙って次々に投入される中、今回発表された2製品は、いずれも約10.1インチワイドXGA(1280×800ピクセル)TFT液晶を搭載し、OSにはAndroid 3.2を搭載している。

XOOMの国内販売開始から6カ月ほど経過していることを考えると、今回発表された2製品のスペックは順当に向上している。特に、GALAXY

TabではCPUや重量、バッテリー容量などで目を引くものがあり、ハイスペックなAndroidタブレットを求めているユーザーには有力な選択肢となるだろう。GALAXY

Tabについては、SamsungがAppleと特許訴訟で係争中で、欧州などでは販売差し止めの仮命令が下されるなどしているが、NTTドコモの山田隆持社長はGALAXY

Tabの国内販売について、「端末販売に支障はないとSamsungから聞いている」と述べている。

一方、ARROWS

Tabの大きな特徴としては、「ワンセグ搭載」「防水(IPX5/IPX7等級)機能」が挙げられる。特に後者はこれまでのAndroidタブレットには見られない特徴的な機能で、ユーザーの購入意欲を刺激している。さらに富士通は手をかざすだけで操作できる「ハンドジェスチャーコントロール」機能をARROWS

Tabに搭載している。これは、端末のインカメラに向かって手を動かすことでタッチ操作の代替とするもので、例えば入浴中などでも手をかざすだけでワンセグのボリューム調節やチャンネル切り替え、ホーム画面の切り替え、スクロールなどの操作を行うことができるというものだ。

両製品とも複数のアプリケーションがインストールされるが、電子書籍関連では、NTTドコモと大日本印刷が推進する電子書籍ストアアプリ「2DFact」が両製品に、ARROWS

Tabには富士通の電子書籍ストア「BooksV」のAndroidアプリ(正確にはアプリをダウンロードできるショートカット)も用意される。現時点でBooksVはAndroid向けのアプリを一般には提供していないので、このアプリはARROWS

Tab専用として端末の差別化につなげるつもりなのかもしれないが、端末の販売時期、またはそれに前後してAndroidアプリをリリースするといった動きがあるかもしれない。

iPadをはじめとしたタブレット型携帯端末の市場は、メーカー各社が相次いで製品を発売するなど、盛り上がりを見せており、2012年以降には1億台を突破する規模で市場が拡大(*)すると言われています。(※)出典:矢野経済研究所DeNALは、9月中旬より、ゲームエンジンとして提供している「Mobage ngCore

SDK」の対応端末としてタブレット端末への対応を開始します。これにより、従来フィーチャーフォンやスマートフォンに向けてゲームを開発していたデベロッパーは、「Mobage ngCore

SDK」でゲームを開発することにより、一度の開発で、タブレット端末、iOS、Androidの全てでソーシャルゲームを提供することが可能になります。

同時に、タブレット端末利用者からのアクセスを容易にするため、富士通株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山本正己)製のドコモ端末「ARROWSTab LTE

F-01D」に、スマートフォン版「Mobage」のアプリケーションを提供します。また、サムスン電子株式会社(本社:韓国ソウル市、代表取締役副会長兼CEO:崔志成/チェ?ジソン、以下サムスン電子)製のドコモ端末「GALAXY Tab10.1 LTE SC-01D」にも、「Mobage」が「Game Hub」としてプリインストールされます。尚、「Mobage」がタブレット端末にプリインストールされるのは、今回が初めてです。

DeNAでは、フィーチャーフォン、スマートフォンに続き、市場が加速するタブレット端末においても対応を強化することで、プラットフォームとして多様なゲームの提供を促進するとともに、より多くの人に「Mobage」を楽しんでいただく機会を創出してまいります